



こんにちは！ 水道局です

平成28年8月発行

～市民生活を未来まで支える上下水道～

鹿児島市水道局

〒890-8585 鹿児島市鴨池新町1番10号

TEL: 099-257-7111

FAX: 099-252-6728

ホームページアドレス

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/suidou/index.html>

鹿児島市水道局

検索

1

このたびの平成28年熊本地震により犠牲となられた皆様のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

一日も早い住民生活の安定と災害復興を心からお祈り申し上げます。本市水道局では、今後とも復興支援を行ってまいります。

災害に備える水道・下水道

4月14日以降に多発した熊本県熊本地方を震源とする熊本地震は、死者や多くの避難者を出す大規模な災害となりました。

この地震により、上下水道・電気・ガスのライフラインも壊滅的な被害を受け、鹿児島市水道局も、熊本市、宇城市、益城町、南阿蘇村へ応急給水隊（小学校や福祉施設での給水などの活動）や応急復旧隊（漏水箇所の調査や管の応急修繕の活動）などを派遣しました。

この支援活動を通じて、災害対策や水の備蓄などの日ごろからの備えの重要性を改めて認識させられました。

そこで今回は、特集として水道局の経営理念である「市民生活を未来まで支える上下水道」の実現の大きな柱である災害対策とご家庭でできる「もしもの時の備え」などについて紹介します。



鹿児島市水道局職員による熊本市での応急給水の様子



※「もしもの時の備え」などについては、2ページをご覧ください。

水道局では、常日頃から災害を想定した訓練を行っています

桜島火山爆発総合防災訓練への参加

◆桜島の噴火による災害を想定して、毎年1月に行われている「桜島火山爆発総合防災訓練」に参加しています。

災害により、水道管の破損、断水が発生したことを想定した応急復旧訓練などを行っています。



訓練における復旧作業の様子

他都市との相互応援体制による合同訓練（日本水道協会九州地方支部合同防災訓練）への参加

◆九州における災害発生時の相互応援を行うことを目的として行われている「日本水道協会九州地方支部合同防災訓練」に参加しています。

地震により、水道管の破損、断水が発生したことを想定した応急給水訓練、応急復旧訓練などを行っています。

今回の熊本地震被災地支援は、この枠組みによる相互応援が大きく機能しました。



訓練における給水作業の様子

水道局内で行っている訓練及び点検

◆災害時の応急給水活動に備え、水道局職員を対象に「応急給水活動訓練」を行っています。市民の皆さんへ迅速に飲料水を供給できるよう、給水車や仮設給水栓等を用いて訓練を実施しています。

また、災害が発生した場合は、初動での活動が非常に重要な意味を持つとされます。その初動体制の確認を目的として「水道局災害対策初期活動訓練」を実施し、災害対策会議開設、緊急点検、情報の収集・分析・伝達、職員体制の確認、マニュアルや作業手順の再確認、応援要請、応急給水などの訓練も行っています。

なお、万が一の事態に備え、施設の保守・点検、資材・燃料の確認など、日頃の点検も実施しています。

水道局では、他都市等と応援協定を結んでいます

◆災害発生時に迅速な応急給水、応急復旧を行うため、九州九都市や中核市、民間事業者などとの応援協定を結んでいます。

○九州九都市災害時相互応援に関する協定（北九州市、福岡市、佐賀市、長崎市、熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市、那覇市）

○中核市災害時相互応援に関する協定

○鹿児島県及び県内市町村間の災害時相互応援協定

○災害時における応急復旧に関する協定（上下水道：鹿児島市管工事協同組合、下水道：鹿児島県建設業協会鹿児島支部）

○水道施設の災害等に伴う応援に関する協定（検針等業務受託者：ヴェオリア・ジェネッツ㈱）

○日本水道協会の会員水道事業体による相互応援ルール

○九州・山口ブロック下水道事業災害時支援に関するルール

※これらの協定に基づき、被災地をいち早く支援する体制が整っています。（今回の熊本地震でも、本市水道局は被災の翌日には、第一陣を派遣しました。）